

第 58 回日本人間ドック学会学術大会 ランチョンセミナー開催報告

2017 年 8 月 24・25 日、埼玉県の大宮ソニックシティにて「第 58 回日本人間ドック学会学術大会(学術大会長:中川高志理事長(医療法人 大宮シティクリニック)」が開催されました。大会 1 日目となる 8 月 24 日にランチョンセミナーを開催しました。座長に金沢医科大学病院認知症センター・高齢医学科講師の入谷敦先生、講師に東京医科歯科大学特任教授の朝田隆先生をお迎えし、「認知症は MCI の早期発見で予防できる」をテーマとしてご講演いただきました。

朝田先生からは、認知症の初期症状(ご自身や家族の気づき)や予防方法について大変わかりやすくお話をいただきました。冒頭、認知症の発症に中年期のライフスタイルや生活習慣病の影響が関与するため、認知症の予防が十分期待できるというご説明がありました。認知症は記憶力の病気と思われがちですが、実は注意力・視空間能力の低下が初期症状であることを具体的な事例を挙げて解説されました。講演の中で、入谷先生、当社鈴木へと視空間能力を試される問題が出され、聴衆の皆さんも一緒になって考える場面もありました。認知症の予防には、運動、知的活動、良質な睡眠、バランスのよい食生活、社会交流を行うこと、つまりは生きがいの追及が発症予防へとつながるとお話していただきました。

また座長の入谷先生から、外来での運動習慣の指導についてご質問がありました。朝田先生からは、習慣化させるために、まずはご家族が褒めること、次いで反射能力や筋力測定を医療機関で行い、数値として客観的に示すことが効果的であるとのご回答がありました。

朝田先生のご講演の後、当社研究開発部の鈴木秀昭より MCI スクリーニング検査についてのご紹介をさせていただきました。定員 500 席のホール会場は満員となり、盛況のうちに幕を閉じることができました。



朝田隆先生



当社 鈴木秀昭



入谷敦先生



満席の会場